

『水滸伝』の国際関係

～鈴鹿高専図書館主催 第23回 文化講座～

(学生・教職員・一般の方向け) **参加費無料**

当日受付です (事前申込の必要はありません)

令和6年

10月21日(月)

16:30～17:20

第3合併講義室

問合せ 図書・情報係

059-368-1733

tosyo@jim.suzuka-ct.ac.jp



宋江、字公明、在郟城县做押司、为人仗义疏财、故人称及时雨、为杀了阎婆惜而逃命上了梁山、最后坐了第一把交椅。



卢俊义、是北京大名府的富豪、能文能武、四海驰名。宋江为了要他上梁山、吴用施小计、赚来卢俊义梁山聚义。



英雄たちの活躍は本当か…？

中国でも日本でも、小説や漫画、ドラマやゲームなど大人気の『水滸伝』。

時は中国の北宋末期(12世紀)、梁山泊に立てこもった108人の豪傑たちが国内のなみいる強敵や極悪非道の汚職高官をうち倒し、縦横無尽に暴れ回る！

のみならず、国外の遼(北方遊牧騎馬民族である契丹族が建国、中国の北半分を侵略して統治した)の討伐も命じられ、見事に華々しい戦果をあげて苦しめた！

果たしてそれは正しいのか…？中国の結婚に基づく外交政策の流れを振り返りつつ、歴史の真実に迫る…！



藤野 月子

鈴鹿高専 教養教育科 准教授

1980年 福岡市生まれ

九州大学 文学部 博士

中国古代中世外交史

著書

『王昭君から文成公主へ』
(九州大学出版会)